

クローバー

拡大版

令和3
4月号

編集・発行

社会福祉法人東京援護協会

板橋区立三園福祉園

板橋区三園 2-9-16

電話：03-5383-9587

発行責任者：三國 幸男

三園福祉園の広報誌「クローバー」は当園を利用されている方々・ご家族をつなぐ情報誌として毎月発行しています。この「拡大版」は、地域の方々にも当園の活動を知っていただき、地域に根差した施設になればという思いを込め、年3回発行するものです。

施設長あいさつ

令和3年度がスタートしました。依然として新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るっており、昨年度は終始その対応に明け暮れた毎日だったような気がします。登園の自粛や楽しみにしていた行事がほとんど中止となり、利用者様・ご家族様にとっても我慢の一年であったかと思えます。引き続きではありますが、皆様におかれましてはくれぐれもご自愛くださいますようお願い申し上げます。

三園福祉園は今年の6月1日に開設10周年を迎えます。おかげさまで更新も無事クリアすることができ、第3期目の指定管理期間に突入しました。昨年4月には板橋区障がいサービス課から「福祉園の民営化に関する考え方(案)」が示され、ご家族への説明会も実施されました。今後はさらに民営化の是非やその方法について検討が進められることとなります。福祉施策の動向に注視しながら、利用者・ご家族の皆様にとって必要な情報の提供に努めてまいります。

今年度、三園福祉園は重心事業の「こもれびグループ」に1名の新規利用者の方を迎え、総勢39名でのスタートとなります。職員は退職や採用、転出入もなく常勤・非常勤をあわせ30名で事業運営にあたります。新型コロナウイルスに対する感染防止、また拡大防止策を徹底しながら、安心・安全にサービスを提供できるように努めてまいります。「コロナだからできない」ではなく「コロナでもできる」ことを模索しながら、さらに充実した日中活動の場を提供できるよう、職員一同、研鑽と努力を重ねて前進してまいります。

ご家族、関係機関の皆様には引き続き、ご協力、ご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

施設長 三國 幸男



次長あいさつ

3月に入り日差しも暖かさを増し、春の訪れを感じさせます。早いもので三園福祉園に来て、はや1年が経過しようとしています。昨年度は新型コロナウイルス感染症の流行により様々な制約が求められる中、利用者皆様に楽しく過ごしていただけるような活動を模索し取り組んでまいりました。いったいいつまで続くのだろうと終わりが見えてこない状況に気持ちが沈んでいました。インターネットを見ていた時に心に響いた文面がありましたので、ご紹介させていただきます。

感染症は必ず終わりがあると公衆衛生の世界では言われています。私が改めてコロナ禍での過ごし方として呼びかけたいのは「待つ力」を高めていこうということです。「待つ力」とは、来るべき時に力を蓄えておくという意味です。この機会に、小さな学び、読書でもいいし、いろいろなディスカッションでもいい、「学ぶ」ということを少ししてみませんか。今は集まることができない。でも気持ちのつながりは断たれているわけではありません。メール、電話、あるいは仲間を思う気持ちでもいいと思うのです。人とのつながりを、意識して作っていきましょう。加えて、来るべき日を夢見て、いろいろな夢を膨らませます。自分の地域で、職場で、家庭で「こんな風にしていきたい」と。小さな学び、心や気持ちのつながり、そして夢を見ること、これが「待つ力」です。ぜひこの力を蓄えていってほしいなと考えています。

「ハートネット 2020年の福祉を振り返って 障害者福祉の課題と展望」藤井克徳さんへのインタビューインターネットからの一部抜粋 2020.12.27

なかなかコロナの感染がとまらず増えたり減ったりといった状況ですが、これまでどおりの感染防止対策をとり、令和3年度も利用者の皆様が、健康に笑顔で過ごしていただけるよう取り組んでいきます。

栗原 正敏



令和3年度 事業計画

令和3年度は、板橋区の指定管理者制度3クール目（R3～R7）の初年度となります。区が示す総合的な社会福祉計画の方向性に注視し、板橋区が検討している区立福祉園の民営化に備え、さらに「皆様から選ばれる魅力ある施設づくり」を目指します。開設から11年目を迎え、利用者様の状態の重度・重症化が課題となってきております。また常時医療的ケアを必要とする方々の通所ニーズの高まりから、昨年度より重心事業の1日利用定員が10名となりました。利用者様の障がい特性の理解と適切な医療的ケアに基づいた支援に努めます。さらに社会福祉法人が今以上に地域社会に貢献しなければならないことを踏まえ、地域公益活動・社会貢献に努めてまいります。法人理念・運営の基本理念・基本方針に基づき下記の重点目標を定めます。

1. 運営の基本理念

法人理念のもと、全職員が高い志を持ち、利用者・ご家族・地域・関係機関の期待に十分にこたえてまいります。利用者一人ひとりが等しくその人間の尊厳が確保され、社会生活において多様な福祉サービスを利用しながら、社会の一員として地域で『豊かで輝きのある人生』を送ることができるよう、誠意と熱意をもって運営に取り組めます。

2. 運営の基本方針

- (1) 利用者、ご家族、地域や福祉的支援を必要とする人々が、今「何を求めているのか」、「何をすべきか」を明確にし、その実現に向けて積極的に取り組みます。
- (2) 「存在有意感」（どのような人でも、そこにいるだけで意味がある）を職員全員が念頭におき、利用者一人ひとりの人格を尊重し、個人の尊厳に配慮した接遇を行います。
- (3) 障がい者支援施設が果たすべき役割と社会福祉法人が担う使命を自覚し、SDGs（持続可能な開発目標）を常に意識した事業展開を行って福祉環境の向上に努めます。
- (4) 職員が危機管理の意識を高め、利用者に安全・安心な活動環境を提供するとともに、経営的視点に立ち事業を運営します。

3. 令和3年度の重点目標

- (1) 利用者サービスの向上（コロナ禍における小グループ化の検討、意思決定支援）
- (2) 社会貢献事業および地域福祉への取組み（町会との連携、地域への啓蒙活動、施設機能や人的資源の寄与）
- (3) 安心と信頼される施設作り（選ばれる魅力ある施設作りの実践）
- (4) 人材育成と健康増進（プリセプター制度の充実、働きがいのある職場づくり）
- (5) 安定した施設運営（民営化に備えた各種加算取得）
- (6) 危機管理の強化（新型コロナウイルス感染症に対する感染防止策の徹底、危機管理意識の向上）
- (7) 清掃訓練事業の発展（板橋区の障がい者福祉政策への貢献）

給食メニュー報告

昨年度、みなさんから好評だった給食メニューを紹介します。

今回はクリスマス行事食です。
今までにない華やかな盛り付けで利用者さん達も大喜びでした。



- ウィンナーピラフ
- コンソメスープ
- 鶏とポテトのオープン焼き
バジルチーズ
- サーモンサラダ
- チョコレートケーキ
フルーツ添え

新入生紹介

令和3年度 新しい利用者さんが三園福祉園こもれびグループに入園しました。

この度、クローバーにてご紹介させていただきます

- 吉田 聖（よしだ ひじり）さん
- 出身校 東京都立志村学園
- 好きな事 音の出る本を触り、音を楽しむこと。
- 好きな食べ物 お寿司
- ご家族からのコメント

人見知りな性格ですが、三園福祉園に少しずつ慣れてくれば良いと思います。

皆さまどうぞよろしくお願ひします。



ミニ情報

5月20日「板橋区出張ふれあい事業」を利用し、三園福祉園に出張動物園がやってきます。

当日はモルモット・うさぎ・ヤギが来園予定です。利用者さん以外は非公開になりますが動物とのふれあいを楽しみたいと思います。

